

森林山村多面的機能発揮対策事業 事故報告書

令和2年8月6日

代表

○地域環境保全作業による伐採事故

1. 事故日時：令和2年8月5日（水） 午後2時ころ

2. 事故現場：

3. 受傷者： 65歳

4. 事故概要

作業員4名で除伐作業を行っていた。

受傷者は45度の斜面で直径約30cmの栗の伐採作業中に左足に伐採したクリの木が乗り脛骨を骨折した。

(装備) 林業用ヘルメット、安全ズボン、スパイク付地下足袋

5. 事故原因

受け口が小さく追切を行った際に割れが生じた。また枝が先に地面につき完全に倒れていないため切離しを行ったところ、立ち位置のほうに倒れてきてよけきれなかった。今回の事故は慣れにより注意をおろそかにした予測不足が原因ではないかと思われる。



6. 救助

30mほど離れた場所で作業していた者が事故に気づき、症状を確認後2人で担架を作りトラクターのトレーラーに乗せ下山。もう一人は救急車を要請し救急隊員に状況等を説明し病院に搬送した。

7. 今後の対応

今回の事故を踏まえて作業員の意識の向上のため、安全講習会を行い事故防止に努めたい。

8. その他

傷害保険：あいおいニッセイ同和損保 団体総合生活保障保険
8月6日15:00 手術 (骨折部補強)